

## 滋賀県ニューツーリズム推進協議会 設立総会 概要

### 開催日時、場所

令和3年6月 23 日(水)13 時 00 分から 14 時 30 分

滋賀県庁危機管理センター(ウェブ会議 併用)

### 参加団体

44 団体、ウェブ会議出席 39 団体、委任状提出 37 団体

### 議事等

#### <開会>

#### 1 滋賀県ニューツーリズム推進協議会の設立について

##### (1)設立趣意書について

##### (2)会則について

- 事務局より説明、承認される。

##### (3)役員について

- 滋賀県ニューツーリズム推進協議会会則(以下、「会則」という。)第5条2項により、会長は滋賀県知事 三日月大造が就任。

会長(滋賀県知事)

7月1日は琵琶湖の日、今年40周年となる。県内のホテルでは、今年度多くの教育旅行の予定が入っており、その多くの学校から環境学習、琵琶湖版のSDGs「マザーレイクゴールズ」について学びたいという要望があると聞いている。私たちが何気なくおこなっていることが、他の方々から見ると、かわっていると捉えられ観光素材となることがある。このようなことを皆様と一緒に磨き、築き、学び、拡げていきたい。

- 副会長は、会則第5条第3項の規定により、公益財団法人びわこビジターズビューロー 川戸会長、西日本旅客鉄道株式会社 若菜京都支社長、滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合 前川理事長の3名を三日月会長が指名。

副会長(公益財団法人びわこビジターズビューロー)

環境によし、社会によし、未来によしの新観光3方よしをテーマに、地域のまちづくり、また県民の豊かな暮らしのために新しいツーリズムを皆様と進めていきたい。

副会長(西日本旅客鉄道株式会社)

JR の強みは広域アクセスネットワークとそれぞれの地域とのパイプと考える。この強みを最大限発揮し、滋賀県の観光振興に尽力したい。

副会長(滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合)

県内の観光宿泊者数増加に向け、皆様と協力し、県内の経済効果底上げにつながるニューツーリズムの取組を進めてまいりたい。

※会長が公務により退席、以降の議事は副会長(公益財団法人びわこビジターズビューロー)

## 2 滋賀県ニューツーリズム推進協議会の事業等について

### (1)協議会の進め方について

- 事務局より資料 4 について説明

### (2)「滋賀の魅力」観光 PR 推進事業について

- 事務局より資料 5 について説明

### (3)ワーケーション推進事業について

- 事務局より資料 6 について説明

## 3 各種協議会との連携について

### (1)プラス・サイクル推進協議会との連携について

- 事務局より資料 7 について説明

### (2) 滋賀ロケーションオフィスとの連携について

- 事務局より資料 8 について説明

### (3) 日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会との連携について

- 事務局より資料 9 について説明

#### 4 質疑、各委員の取組紹介等について

##### 委員

協議会の構成団体がそれぞれのチャンネルで情報共有・発信をお願いしますと  
いうことだが、情報発信能力に優れた若い世代や、また女性の意見をどう収集し  
ようとお考えか。

##### 事務局

この協議会を滋賀県の魅力を再発見、再評価する情報共有・連携・発信のため  
のプラットフォームにしたいと考えている。今後、個別テーマで部会を立ち上げる  
ので、その中で若い世代の方々など様々な方の声を拾い上げてまいりたい。

##### 副会長(滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合)

- 「県内でのワーケーションの推進について」参考資料1に基づき説明

##### 委員(大津市)

- 「大津市の今年度の観光事業について」参考資料2に基づき説明

##### 委員(東近江市)

- 「近江の聖徳太子魅力発信事業について」参考資料3に基づき説明

##### 委員(滋賀日産自動車株式会社)

電気自動車のシェアリングサービスを活用した環境に配慮した旅行商品を、宿  
泊施設など関係団体と連携して取り組んでいきたい。

##### 委員(株式会社エムエム滋賀)

- 「開局 25 周年特別企画「やっぱり滋賀が好き 2021」について」参考資料4に  
基づき説明

##### 委員(株式会社近鉄百貨店)

草津近鉄百貨店2階のプラグスマーケットの一角を滋賀の魅力発信の場所とし  
ている。来店者への宣伝やモニタリングなどにご活用いただきたい。

副会長(公益財団法人びわこビジターズビューロー)

この協議会では、まずは情報共有から始め、必要な部会の設立、情報収集のための連絡網をつくるという、情報共有から連携へ、また新しい情報発信へという取組を皆様と力を合わせて進めてまいりたい。

事務局

ワーケーション部会について、秋までの設立に向け、皆様には後日、参画意向のご確認をさせていただく。

今年度、県の観光振興ビジョンの改定を行う。コロナ禍からの回復戦略と中長期の戦略をしっかりと描きたい考えであり、皆様のご意見も伺いながら進めてまいりたい。

<閉会>